

# 学力に関する証明書(別表第1) 中一種免(国語)

氏名		生年月日	年 月 日生
----	--	------	--------

上記の者は、下記のとおり、教育職員免許法別表第1第2欄に定める基礎資格を有し、同表第3欄に定める単位を修得したことを証明する。

令和元年9月1日

大学長

記

1. 基礎資格

・学位の種類	文学士	・備考	
・在学期間	昭和59年4月1日～昭和63年3月20日卒業(〇〇大学文学部国文学科)		

2. 単位修得機関・単位修得期間

①学部	上記基礎資格欄と同じ		
②科目等履修 (他学部・他学科 受講含む。)	単位修得期間	—	
	上記学校種・教科の課程認定を受けている学科等名	—	

3. 単位

(1) 教科及び教職に関する科目

教育職員免許法施行規則に規定する科目	確認欄	単位修得済授業科目		備考
		名称	単位数	
教科及び教科の指導法に関する科目 ・教科に関する専門的事項				※印の科目は平成29年改正教育職員免許法施行規則附則第2項により、旧課程の科目の単位を読み替えている。
国語学(音声言語及び文章表現に関するものを含む。)	○	※日本語学概論	4	
国文学(国文学史を含む。)	○	※日本文学概論	4	
		※日本文学史	4	
漢文学				
書道(書写を中心とする。)				
・各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)				
・上記2つの事項を合わせた内容に係る科目				
		小計	12	
教育の基礎的理解に関する科目 ・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想 ・教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。) ・教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。) ・幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程 ・特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解 ・教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)				
		小計	0	
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目 ・道徳の理論及び指導法 ・総合的な学習の時間の指導法 ・特別活動の指導法 ・教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。) ・生徒指導の理論及び方法 ・教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法 ・進路指導及びキャリア教育の理論及び方法				
		小計	0	
教育実践に関する科目 ・教育実習 事前及び事後の指導 教育実習 学校体験活動 ・教職実践演習				
		小計	0	
大学が独自に設定する科目				
		小計	0	
		計	12	

・上記の全ての単位を修得した年度	昭和60年度
------------------	--------

(2) 教育職員免許法施行規則第6条の6に定める科目

教育職員免許法施行規則に規定する科目	単位修得済授業科目		備考
	名称	単位数	
日本国憲法	日本国憲法	2	
体育	体育実技	2	
外国語コミュニケーション	英語	6	
情報機器の操作			
	計	10	

【備考】

- ・上記「確認欄」には、各欄の左に記載されている科目又は事項を含めて、授業科目を履修し、単位を修得している場合に「○」を記載すること。
- ・なお、「教科に関する専門的事項」の各科目の「確認欄」には、各科目の一般的包括的な内容を含めて、授業科目を履修し、単位を修得している場合に「○」を記載すること。

■本証明書に関する問い合わせ先

〇〇大学〇〇課 TEL : 〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇 (直通) FAX : 〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇

## 学力に関する証明書(別表第1)(中一級免(国語))

氏名	生年月日
----	------

上記の者は、昭和63年改正教育職員免許法附則第4項適用の者で、下記のとおり、教育職員免許法別表第1第2欄に定める基礎資格を有し、同表第3欄に定める単位を修得したことを証明する。

年 月 日

大学長

記

1、基礎資格等

・学位の種類	文学士
・在学期間	昭和59年4月1日 ~ 昭和63年3月20日卒業 (〇〇大学文学部国文学科)

2、教科に関する科目

教育職員免許法施行規則に規定する科目	確認欄	単位修得済授業科目		備考
		名称	単位数	
国語学(音声言語及び文章表現に関するものを含む。)	○	日本語学概論	4	
		日本語学特殊講義	4	
国文学(国文学史を含む。)	○	日本文学概論	4	
		日本文学史	4	
		古典文学特殊講義	4	
		近代文学特殊講義	4	
		古典文学講読	4	
		近代文学講読	4	
漢文学	○	漢文学	4	
書道(書写を中心とする。)	○	書道	4	
		計	40	

注) 左に記載されている科目の一般的包括的な内容を含めて、授業科目を履修し、単位を修得している場合は確認欄に「○」を表示。

3、教職に関する科目

教育職員免許法施行規則に規定する科目	確認欄	単位修得済授業科目		備考
		名称	単位数	
教育原理	○	教育原論	4	
教育心理学、青年心理学	○	教育心理学	4	
		青年心理学	2	
教科教育法	○	国語科教育法	4	
道徳教育の研究	○	道徳教育の研究	2	
教育実習	○	教育実習	2	
		計	18	

注) 左に記載されている科目を含めて、授業科目を履修し、単位を修得している場合は確認欄に「○」を表示。

・上記の全ての単位を修得した年度	昭和62年度
------------------	--------

# 学力に関する証明書(別表第1) 中一種免(国語)

氏名		生年月日	年 月 日生
----	--	------	--------

上記の者は、下記のとおり、教育職員免許法別表第1第2欄に定める基礎資格を有し、同表第3欄に定める単位を修得したことを証明する。

令和元年9月1日

大学長

記

1. 基礎資格

・学位の種類	文学士	・備考	
・在学期間	昭和59年4月1日～昭和63年3月20日卒業(〇〇大学文学部国文学科)		

2. 単位修得機関・単位修得期間

①学部	上記基礎資格欄と同じ		
②科目等履修 (他学部・他学科 受講含む。)	単位修得期間	—	
	上記学校種・教科の課程認定を受けている学科等名	—	

3. 単位

(1) 教科及び教職に関する科目

教育職員免許法施行規則に規定する科目	確認欄	単位修得済授業科目		備考
		名称	単位数	
教科及び教科の指導法に関する科目 ・教科に関する専門的事項				※印の科目は平成29年改正教育職員免許法施行規則附則第2項及び第3項により、旧課程の科目の単位を読み替えている。
国語学(音声言語及び文章表現に関するものを含む。)	○	※日本語学概論 ※日本語学特殊講義	4 4	
国文学(国文学史を含む。)	○	※日本文学概論 ※日本文学史 ※古典文学特殊講義 ※近代文学特殊講義 ※古典文学講読 ※近代文学講読	4 4 4 4 4 4	
漢文学	○	※漢文学	4	
書道(書写を中心とする。)	○	※書道	4	
・各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)	○	※国語科教育法	4	
・上記2つの事項を合わせた内容に係る科目				
			小計 44	
教育の基礎的理解に関する科目 ・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	○	※教育原論	4	
・教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)				
・教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)				
・幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	○	※教育心理学	4	
・特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解				
・教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)				
			小計 8	
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目 ・道徳の理論及び指導法	○	※道徳教育の研究	2	
・総合的な学習の時間の指導法				
・特別活動の指導法				
・教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)				
・生徒指導の理論及び方法				
・教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法				
・進路指導及びキャリア教育の理論及び方法				
			小計 2	
教育実践に関する科目 ・教育実習				平成元年5月22日付元教教第14号通知に基づく事前事後指導のみなし
事前及び事後の指導	○	※青年心理学	2	
教育実習	○	※教育実習	2	
学校体験活動				
・教職実践演習				
			小計 4	
大学が独自に設定する科目				
			小計 0	
			計 58	

・上記の全ての単位を修得した年度	昭和62年度
------------------	--------

(2) 教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目

教育職員免許法施行規則に規定する科目	単位修得済授業科目		備考
	名称	単位数	
日本国憲法	日本国憲法	2	
体育	体育実技	2	
外国語コミュニケーション	英語	6	
情報機器の操作			
	計	10	

【備考】

- ・上記「確認欄」には、各欄の左に記載されている科目又は事項を含めて、授業科目を履修し、単位を修得している場合に「○」を記載すること。
- ・なお、「教科に関する専門的事項」の各科目の「確認欄」には、各科目の一般的包括的な内容を含めて、授業科目を履修し、単位を修得している場合に「○」を記載すること。

■本証明書に関する問い合わせ先

〇〇大学〇〇課 TEL : 〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇 (直通) FAX : 〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇

## 学力に関する証明書(別表第1) 中一種免(国語)

氏名	生年月日	年 月 日生
----	------	--------

上記の者は、下記のとおり、教育職員免許法別表第1第2欄に定める基礎資格を有し、同表第3欄に定める単位を修得したことを証明する。

令和元年9月1日

大学長

記

1. 基礎資格

・学位の種類	文学士	・備考	
・在学期間	昭和59年4月1日～昭和63年3月20日卒業(〇〇大学文学部国文学科)		

2. 単位修得機関・単位修得期間

①学部	上記基礎資格欄と同じ		
②科目等履修 (他学部・他学科 受講含む。)	単位修得期間	—	
	上記学校種・教科の課程認定を受けている学科等名	—	

3. 単位

(1) 教科及び教職に関する科目

教育職員免許法施行規則に規定する科目	確認欄	単位修得済授業科目		備考
		名称	単位数	
<b>教科及び教科の指導法に関する科目</b>				
・教科に関する専門的事項				
国語学(音声言語及び文章表現に関するものを含む。)	○	※日本語学概論	4	※印の科目は平成29年改正教育職員免許法施行規則附則第2項及び第3項により、旧課程の科目の単位を読み替えている。
		※日本語学特殊講義	4	
国文学(国文学史を含む。)	○	※日本文学概論	4	
		※日本文学史	4	
		※古典文学特殊講義	4	
		※近代文学特殊講義	4	
		※古典文学講読	4	
		※近代文学講読	4	
漢文学	○	※漢文学	4	
書道(書写を中心とする。)	○	※書道	4	
・各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)				
	○	※国語科教育法	4	
		国語科教育法C	2	
		国語科教育法D	2	
・上記2つの事項を合わせた内容に係る科目				
		小計	48	
<b>教育の基礎的理解に関する科目</b>				
・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	○	※教育原論	4	
・教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)	○	教職論	2	
・教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	○	教育社会学	2	
・幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	○	※教育心理学	4	
・特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	○	特別支援教育論	2	
・教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	○	教育課程論	2	
		小計	16	
<b>道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目</b>				
・道徳の理論及び指導法	○	※道徳教育の研究	2	
・総合的な学習の時間の指導法	○	特別活動・総合的な学習の時間の指導法	2	
・特別活動の指導法	○			
・教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)	○	教育の方法及び技術	2	
・生徒指導の理論及び方法	○	生徒・進路指導論	2	
・教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	○	教育相談	2	
・進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	○			
		小計	10	※「生徒・進路指導論」を含む。
<b>教育実践に関する科目</b>				
・教育実習				
事前及び事後の指導	○	※青年心理学	2	平成元年5月22日付元教教第14号通知に基づく事前事後指導のみなし
		教育実習指導I	1	
教育実習	○	※教育実習	2	
		教育実習A	4	
学校体験活動				
・教職実践演習	○	教職実践演習(中高)	2	
		小計	11	
<b>大学が独自に設定する科目</b>				

小計	0
計	85

・上記の全ての単位を修得した年度	令和●年度
------------------	-------

(2) 教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目

教育職員免許法施行規則に規定する科目	単位修得済授業科目		備考
	名称	単位数	
日本国憲法	日本国憲法	2	
体育	体育実技	2	
外国語コミュニケーション	英語	6	
情報機器の操作	教職コンピュータ基礎	2	
	計	12	

【備考】

- ・上記「確認欄」には、各欄の左に記載されている科目又は事項を含めて、授業科目を履修し、単位を修得している場合に「○」を記載すること。
- ・なお、「教科に関する専門的事項」の各科目の「確認欄」には、各科目の一般的包括的な内容を含めて、授業科目を履修し、単位を修得している場合に「○」を記載すること。

■本証明書に関する問い合わせ先

〇〇大学〇〇課 TEL : 〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇 (直通) FAX : 〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇

## 学力に関する証明書(別表第1) 小一種免

氏名	生年月日	年	月	日生
----	------	---	---	----

上記の者は、下記のとおり、教育職員免許法別表第1第2欄に定める基礎資格を有し、同表第3欄に定める単位を修得したことを証明する。

年 月 日

大学長

記

1. 基礎資格

・学位の種類		・備考	
・在学期間	年 月 日 ~ 年 月 日	( 大学 学部 学科)	

2. 単位修得機関・単位修得期間

①学部			
②科目等履修 (他学部・他学科 受講含む。)	単位修得期間		
	上記学校種・教科の課程認定を受けている学科等名		

3. 単位

(1) 教科及び教職に関する科目

教育職員免許法施行規則に規定する科目	確認欄	単位修得済授業科目		備考
		名称	単位数	
教科及び教科の指導法に関する科目 ・教科に関する専門的事項  ・各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。） 国語（書写を含む。） 社会 算数 理科 生活 音楽 図画工作 家庭 体育 外国語 ・上記2つの事項を合わせた内容に係る科目	/			教科及び教科の指導法に関する科目の最低修得単位数は30単位
		小計	0	
教育の基礎的理解に関する科目 ・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想 ・教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。） ・教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。） ・幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程 ・特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解 ・教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	/			教育の基礎的理解に関する科目の最低修得単位数は10単位
		小計	0	
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目 ・道徳の理論及び指導法 ・総合的な学習の時間の指導法 ・特別活動の指導法 ・教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。） ・生徒指導の理論及び方法 ・教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法 ・進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	/			道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目の最低修得単位数は10単位
		小計	0	
教育実践に関する科目 ・教育実習 事前及び事後の指導 教育実習 学校体験活動 ・教職実践演習	/			教育実習の最低修得単位数は5単位 教職実践演習の最低修得単位数は2単位
		小計	0	
大学が独自に設定する科目	/			大学が独自に設定する科目の最低修得単位数は2単位
		小計	0	
		計	0	

・上記の全ての単位を修得した年度	年度
------------------	----



(2) 教育職員免許法施行規則第6条の6に定める科目

教育職員免許法施行規則に規定する科目	単位修得済授業科目		備考
	名称	単位数	
日本国憲法			
体育			
外国語コミュニケーション			
情報機器の操作			
	計	0	

【備考】

・上記「確認欄」には、各欄の左に記載されている科目又は事項を含めて、授業科目を履修し、単位を修得している場合に「○」を記載すること。

■本証明書に関する問い合わせ先

〇〇大学〇〇課 TEL : 〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇 (直通) FAX : 〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇